

廃食油をバイオ燃料に

大垣西濃信金 回収ボックス設置
養老支店

家庭などから出る廃食油を回収する拠点「わくわく油田回収スポット」が1日、養老

町押越の大垣西濃信用金庫養老支店に設置された。回収した油は高純度バイオ燃



家庭で出た廃食油を回収する「わくわく油田回収スポット」＝養老町押越、大垣西濃信用金庫養老支店

料として再利用される。

脱炭素化社会の実現に向け、熊本県で始まった取り組み「わくわく油田プロジェクト」の一環。県内では関市と恵那市、西濃地域では海津市に続き、養老町でも同支店を皮切りに回収スポットを設置していく。

同支店の店舗内にボックスを設置、ペットボトルなどに入れた廃食油を回収する。廃棄物の収集・運搬などを手がける辺省(同町蛇持)が、プロジェクトを展開する海津市平田町の日本環境管理センターへ運び、軽油の代わりとなる高純度バイオ燃料を精製する。ディーゼル車や重機の燃料として活用される。

廃食油を持ち込んだ人は量に応じて、アプリ上で商品と交換できるポイントがもらえる。木村匡志支店長は「捨てていた油を資源として捉えてもらい、来店のついでに利用してほしい」と話す。(亀山大樹)